

平成 30 年度 大阪府立河南高等学校 第 3 回学校運営協議会 報告

〔 日 時 平成 31 年 1 月 22 日 (火) 15:00～16:30 〕  
〔 場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 議事

(1) 現状報告と(2)質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 第 2 回授業アンケート報告 (教頭)

○11 月下旬から 12 月上旬に実施した。質問 1～9 までの校内平均はここ 3 年間で最高である。

○次年度からアンケートの質問項目の文言は各学校で決めることができる。来年度第 1 回の協議会でアンケートの文言について示します。

◎特に意見なし。

② 学校教育自己診断の結果について (東首席)

○保護者の評価は 6 項目で上昇しているが、全体的に例年並みである。生徒の評価は前 27 項目中 10 項目で 3%以上下がっており、全体的に下降傾向が続いている。特に 2 年生の落ち込みが大きい。学年として、生徒のニーズを把握した上での改善が必要であろう。項目 1「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価が 78%になり、初めて 80%を割り込んだ。生指面に関する項目についても肯定的評価が下がった。授業・勉強に関する項目で「全体的に授業は分かりやすい」は今年度下降した。授業進度に関する項目においても、昨年度の上昇から一転 6%下降している。進路関係の項目でも 2 年生の評価が心配である。教育相談関連の項目 2、3 年で下降しているが、全体的に大きな変化はない。人権関係の項目では評価は上昇している。読書に関する項目は、3 年生で上昇しているものの、全体的には横ばい状態である。

○前回の協議会の提言を受け、図書委員にも意見を出してもらい読書量を増やす取り組みを考えた。

◎2 年生の評価が下がっている傾向は改善しなければならない。教師のアンケートに「授業で工夫している」という項目がないのはおかしい。教師から見て授業に積極的に取り組んでいない生徒の割合が上がっているのが気になる。原因究明と対策を講じる必要がある。学習形態の改革期にある。思考力、表現力が身に付いているか問われる。授業スタイルを変える必要がある。

③ 今年度を振り返って

・進路途中経過 (田中進路指導主事)

○71 期生の現時点での進路結果の報告

・生活指導部 (小岸生徒指導主事)

○今年度の出席状況、懲戒指導についての報告

・特別講演会 (横山首席)

○今年度の特別講演会の内容と生徒のアンケート結果の報告

・自治会役員との懇談 (自治会役員 4 名)

④ 平成 30 年度、31 年度学校経営計画及び学校評価について (校長)

○知の刺激を求める活動が必要。改定した箇所を網掛けしております。ご意見があればお願いします。

◎承認いたします。

(2) 質疑応答・協議

3 校長謝辞